

秋・冬編

蕪栗沼観察マップ



**中央マコモ群落
西マコモ群落**
オオハクチョウ・オオヒシクイ
が多く利用する。

萱刈川

小山田橋

小山田川

蕪栗沼開水面と北マコモ群落

数万羽のガンがねぐらとする。
オオヒシクイが多く利用する。

P

N

白鳥地区開水面

最盛期で約20000羽の
ガンがねぐらとする。
ハクチョウ類やカモ類も
多く利用する。

中央ヨシ帯

春・秋に小鳥たちが渡りの
中継地としてよく利用する。



観察ポイント



注意するところ

徒歩観察ルート

白鳥地区復元湿地

春・秋にシギ・チドリが利用。
カエルの産卵場所。

白鳥機場

冬の蕪栗沼のみどころ

夕日が沈むころのマガンのねぐらいたり、
朝の数万羽の飛び立ちは何度見ても感動します。
また運がよければ、オジロワシや、キツネが水鳥を
狩るところが見れるかもしれません。また、鳥の羽や、
骨を集めるのもおもしろいです。

蕪栗沼の自然を未来に伝えるために

●ハクチョウやカモにエサを与えないでください
蕪栗沼には自然の食べ物がたくさんあります

●ガン類はとても敏感な鳥です
大きな声で騒いだりしておどかさないようにしましょう



防寒はしっかりと！



ご注意！ 蕪栗沼には観察施設、水場、
トイレ、電話はありません

お問い合わせ：■河川管理に関すること 宮城県迫川総合開発建設事務所：TEL 0220-22-2237 ■蕪栗沼観察ガイドに関すること 蕪栗ぬまっこくらぶ 0229-38-1124